



令和8年(2026年)4月7日 公表
 令和7年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価

キダイ (日本海・東シナ海系群)

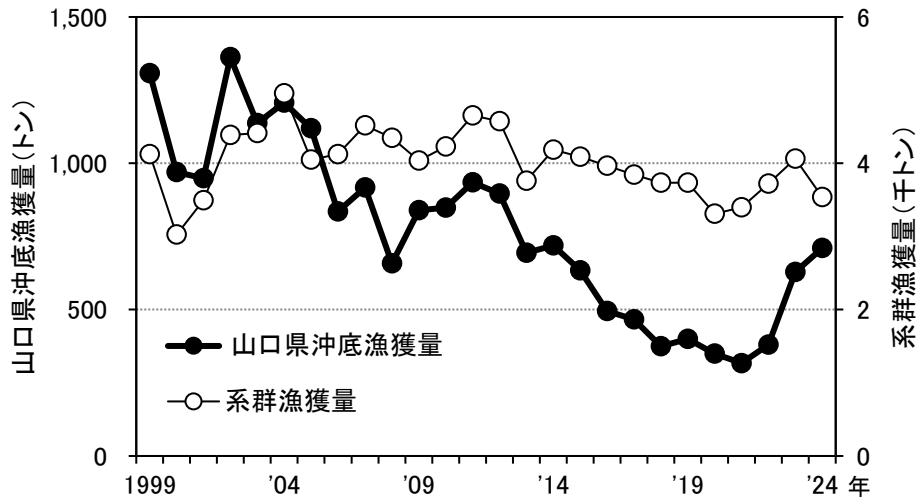


図 山口県沖合底びき網漁業によるキダイ漁獲量 (下関漁港水揚量) 及び日本海・東シナ海系群キダイ漁獲量 ((国研) 水産研究・教育機構 資源評価報告書)の推移

【漁業】キダイは沖合域では主に沖合底びき網、沿岸域では主に小型底びき網や延縄により日本海側の広い海域で漁獲される。主な漁獲サイズは尾叉長 12~17cm (豆芝銘柄) である。

【漁獲量】山口県沖合底びき網漁業の漁獲量は、2002年に1,362トンと最高値を記録した。その後は顕著な減少傾向にあったが、2022年以降増加し、2024年の漁獲量は710トンであった。系群の漁獲量は、1960年に1万トンを超えていたが、2013年以降は4千トン前後で推移している。

【資源状態】資源状態は、東シナ海では1993年以降の2そうびき以西底びき網漁業とトロール調査のデータから計算した標準化CPUEより評価した結果高位、日本海では1993年以降の島根県浜田以西の2そうびき沖合底びき網漁業のデータから計算した標準化CPUEより評価した結果高位と判断された。系群の主体は東シナ海にあることから、系群全体の資源水準は高位、動向は横ばいと判断された。

資源の水準・動向		2024年漁獲量	2026年 ABCtarget	2026年 ABClimit
水準	動向	(百トン)	(百トン)	(百トン)
高位	横ばい	35	32	40